

上田保健所管内で販売されていた「苦味の強いユウガオ」による食中毒が発生しました

上田保健所管内で販売されていた「苦味の強いユウガオ」を食べたことによる食中毒が発生しました。

患者は、販売店でユウガオを購入し、自宅で食べた1グループ2名で、食べる際に強い苦味を感じたとのことでした。

なお、患者は全員快方に向かっています。

【事件の探知】

令和7年7月31日午前10時20分頃、患者から「7月31日にユウガオを調理して食べたところ、強い苦みを感じ、体調不良を呈した。」旨の連絡が上田保健所がありました。

【上田保健所による調査結果概要】

- 患者は7月29日に販売店でユウガオを購入し、31日午前7時30分頃に調理して食べたところ、強い苦みを感じ、約1時間後に吐き気、悪心などの症状を呈しました。
- 患者の症状は、ユウガオの苦味成分（ククルビタシン類）による症状と一致していました。
- 患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。
- 以上のことから、保健所は「苦味の強いユウガオ」を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所	上田保健所	
患者関係	発症日時	7月31日 午前8時30分頃から
	患者症状	吐き気、悪心など
	患者所在地	上田市
	患者数 及び喫食者数	患者総数／喫食者数：2名／2名 (患者内訳) 男性：1名(年齢：70歳代) 女性：1名(年齢：60歳代)
	入院患者数	0名
	医療機関受診者数	2名(受診医療機関数 1か所)
原因食品	ユウガオ入りの味噌汁(推定)	
病因物質	ククルビタシン類(推定)	

《当該ユウガオに関する情報》

商品名：ユウガオ
販売形態：無包装又は合成樹脂袋入り
販売日：令和7年7月18日から令和7年7月31日
販売場所：上田市内の販売店



- ・ ユウガオに苦みを感じた場合は、絶対に食べないで廃棄してください。
- ・ 苦みのあるユウガオを食べて体調不良となった場合は、医療機関を受診してください。

==ククルビタシン類による食中毒==

[特 徴]

- ククルビタシン類は、観賞用のウリ科植物(ヒョウタンなど)に含まれる苦味成分です。
- ごくまれに、食用のウリ科植物(ユウガオなど)に高濃度のククルビタシン類が含まれている場合があります。
- 過去にヒョウタンの誤食や苦味の強いユウガオによる食中毒が発生しています。

[症 状]

- 食後数分～数時間で唇のしびれ、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢を起こします。

[予防方法]

- 食べてみて、**強い苦味がある場合は、食べないで廃棄してください。**
(※ゴーヤ(ニガウリ)の苦味成分はククルビタシン類とは別の物質です。)

[参考]

- 厚生労働省のホームページ ～自然毒のリスクプロファイル：高等植物：ユウガオ～
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000079844.html>
- 長野県のホームページ ～激しい苦みのあるウリ科植物にご注意ください～
<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/kenko/shokuhin/shokuchudoku/yugao.html>

- 長野県内（中核市含む）における食中毒発生状況（本件含む）

令和 7 年 度 (うち 中核市)	5 件 (1 件)	66 名 (1 名)
令和 6 年 度 (うち 中核市)	26 件 (6 件)	523 名 (142 名)

- 長野県内における「苦みのあるユウガオ」による食中毒発生状況（本件含む）

令和 3 年度～令和 7 年度 (うち 中核市)	2 件 (1 件)	4 名 (2 名)
-----------------------------	--------------	--------------

(問合せ先)

上田保健所 食品・生活衛生課 食品・動物衛生係
(担当) 児玉、藤井、須田
電話: 0268-25-7152(直通)
0268-23-1260(代表) (内線 2314)
FAX: 0268-25-7179
E-mail uedaho-shokusei@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

健康福祉部 食品・生活衛生課 食品衛生係
(担当) 福井、松本、飯塚
電話: 026-235-7155(直通)
026-232-0111(代表) (内線 2661)
FAX: 026-232-7288
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp